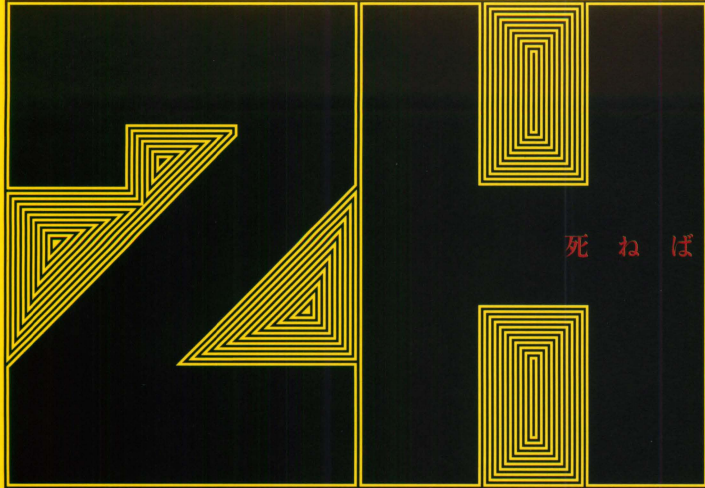


1999年ベルリン国際映画祭・ネットバック賞(最優秀アジア映画賞)受賞

2000年香港国際映画祭・国際批評家連盟賞大賞受賞

ライオン 李樺 監督 第一作 [2H]

DISTRIBUTED BY



死ねば 終わり、なのか？

ALIYING FILM

1999 JAPAN 35MM 120MIN
MONOCHROME-COLOR



あなたの家族に、
あそしてあなた自身にもいつかやってくる。
ここに、ひとつの“家族”の姿がある。

人は誰でもいつかは死ぬ。それは分かり切ったこと。けれど、自分が死ぬことを強く意識することはあまりないかもしれない。では、身近な人の存在はどうだろうか？ 例えば、いつも甘えさせてくれたおじいさんや、おばあさん。この数年急に年老いているように見える両親。そんなあなたの大切な人たちも、ずっと前からおじいさんだったわけでも、お母さんだったわけでも、もちろんない。逆に言えば、自分にもいつかやってくることなのだ。

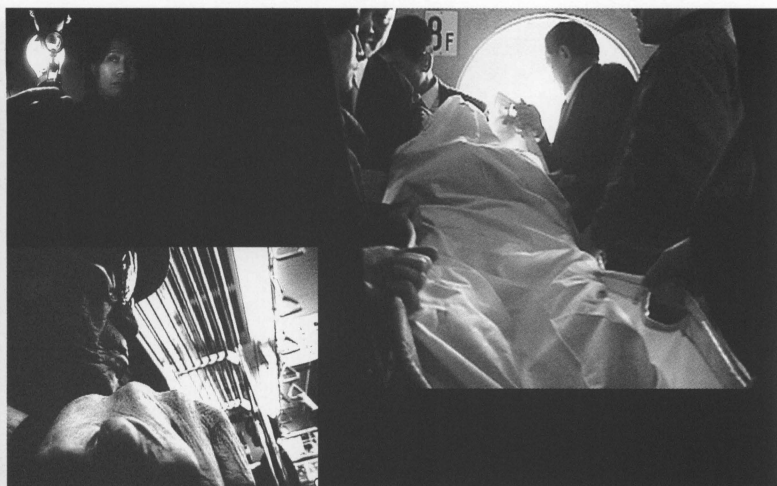
生きること、死ぬこととはどういうことなのか？ 孤独や葛藤、悲しみや喜び、そんな場面の全てにいつも誰かが傍にいてくれるわけではない。「誰かに面倒を見てもらう」。死を意識しなくてはいけなくなった時、人はどんな思いを抱くのだろう。

この映画は、中国に生まれ日本に暮らす映画監督・李縷による劇場長編作品であるとともに、在日中国人による初の“日本映画”でもある。老いとは何か？ そして老いていく人をどう見守っていくのか。李縷は、自分にとっては外国である日本に暮らし、そこで初めて得た新しい“家族”を激しく、そして静かに見つめ続ける…。

人の老人は、“死”を予感する。
それは孤独な闘いの始まりだった。
一人の女性芸術家は、“老人の死”を予感する。
そして自分の子供を持つことを願った。

96歳の老人が東京で暮らしていた。老人——馬晋三。彼に残された時間はそう長くはない。彼はかつて国民党の将軍として激動の中国史を生きた。キリストの教えは彼に祈りと祝福と安らぎをもたらした。彼の人生は常に闘いの中にあっただ。かつての敵国である日本で、たったひとり生きていくことを選ぶ。それはまたひとりきりで死へと向かう闘いのはじまりだった。

一人の中国人女性芸術家もまた東京を拠点に活動していた。この都会で自分自身だけを信じて生きる中で、彼女は自分の血を分けた子供を持つことを強く望んでいた。都会で、ましてや自分の生まれた国ではないこの東京で、ひとりきりで生きていくことは、そして誰かと共に生きるとは一体どのようなことなのだろうか？



スタイリッシュで感動的な映像だ。主人公に対する深い愛情が透明感溢れる眼差しで捉えられている。この作品が李縷にとって初の監督作品であることに僕は圧倒されていた。

スタンリー・クワン 映画監督

李縷のカメラは、対象のその向う側に、目には見えない「生」と「死」を凝視しているようである。ある日、馬老人は、縦笛を吹いている、気功を繰り返している、さらには、かつての勳章や家族や自分の写真を眺めている。その瞬間の刹那に、彼の身体には、単に「過去」と名付けるだけでは済まされない、何かが訪れているだろう。「2日」を観る経験とは、その何かを私たち自身の中に宿し直す試みであるかもしれない。

小倉忠太郎 ため連

「2日」を見ている2時間、私はあたたかもある家庭に入り込んでいるかのようでした。家族の一人としてテーブルに向かっています。でも、そこで起こっていることに対し、一言も口をきけない状態をひしと感じていました。「2日」は、一種のアンバランスを支えられています。天秤が上下に揺れ動くはさまに、この作品が持つフォームが形成されています。これこそが芸術作品なのです。

アレクサンドル・ソクーロフ 映画監督

「2日」を見ている2時間、私はあたたかもある家庭に入り込んでいるかのようでした。家族の一人としてテーブルに向かっています。でも、そこで起こっていることに対し、一言も口をきけない状態をひしと感じていました。「2日」は、一種のアンバランスを支えられています。天秤が上下に揺れ動くはさまに、この作品が持つフォームが形成されています。これこそが芸術作品なのです。

谷川俊太郎 詩人

「2日」(二時間)は、歴史であり永遠であり一瞬でもある。老いの日常にはなんと入り組んだ時間が渦巻いていることだろう。虚構と事実のはさまの矛盾に満ちた生々しい現実。東京にこんな人々が生きていることを私は知らなかった。

谷川俊太郎 詩人

『2H』(ニエイチ) 李縷監督第一作 1999年ベルリン国際映画祭・ネットバック賞(最優秀アジア映画賞)受賞 2000年香港国際映画祭・国際批評家連盟賞大賞受賞
1999年日本映画/35mm/モノクロ+カラー/120分/スタンダード/英語字幕付 with English subtitles 製作+配給:龍影 DRAGON FILMS INC. 配給協力:スローラーナ
出演:馬 晋三 Ma Jinsan (マ・ジンサン) 熊文鈞 Xiong Wenyun (シュン・ウェンユン) 張奇開 Zhang Qikai (ツァン・チーカイ) 李 燕 Li Yan (リー・エン)
スタッフ:監督+撮影+録音+編集:李縷 (リー・イン) プロデューサー:張怡 (ツァン・イ) 撮影協力:川村孝 録音協力:飯塚員三十内海浩義 編集オペレーター:林大介+水上智仁 音響効果:伊藤泰久+丸山孝之
ミキサー:三上信一 デジタル技術統括:三上信一+山田直哉 タイミング:水上智仁 (TSP) 広瀬亮一 (イマジカ) キネレコ:イマジカ 音楽:ジョン・海山・ネフチューン“大和の魂” プロダクション協力:TSP+イマジカ

2000年1月2日(火)より新世紀ロードショー!!

1/2 (火)~19 (金) モーニングショー 連日 AM10:30 より1回上映

1/20 (土)~26 (金) レイトショー PM8:50 より1回上映

★特製Tシャツヌーヴォ劇場窓口で限定発売中!!
特別鑑賞券 1400円 好評発売中!!

●劇場窓口、チケットぴあ、阪急・阪神ほか各プレイガイドで好評発売中!!

■当日 / 一般1700円、学生1400円、高校1200円、中・小・シニア1000円

シネ・ヌーヴォ
地下鉄中央線「九条駅」6番出口下車
大阪1号ホーム方面へ徒歩2分
TEL06-6582-1416
http://terra.zone.ne.jp/cinenouveau/

